

伊集院保健所感染症情報

2025年第6週（令和7年2月3日～令和7年2月9日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内に水痘の流行発生警報を発令しました。

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第3週	第4週	第5週	第6週	先週からの増減	第5週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	16.40	9.40	2.00	0.80	↘	4.45	↘
COVID-19	-	-	-	5.00	2.80	5.20	2.80	↘	3.75	↘
咽頭結膜熱	3	1	-	0.00	1.33	1.33	0.67	↘	0.53	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	3.00	3.33	2.33	2.33	→	2.94	↘
感染性胃腸炎	20	12	-	4.33	4.00	5.00	3.00	↘	7.90	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	3.00	↗	0.22	→
手足口病	5	2	-	0.00	0.33	0.00	0.00	→	0.16	→
伝染性紅斑	2	1	-	0.33	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.33	0.33	→	0.25	↘
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
RSウイルス感染症	-	-	-	0.33	0.00	0.33	0.33	→	0.37	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC

ノロウイルスに注意しましょう

ここ最近、全国でノロウイルスによる食中毒の発生が相次いでいます。ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は1年を通して発生していますが、特に冬期に流行するため注意が必要です。冬季に流行する理由として、ノロウイルスが低温で乾燥した環境に強いウイルスであること、冬は牡蠣などの2枚貝を口にする機会が増えることなどが考えられています。

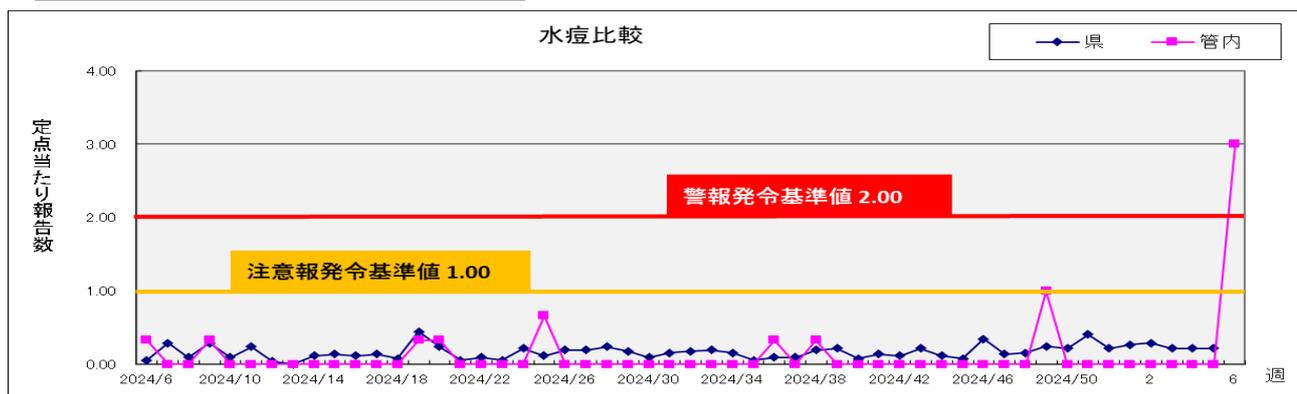
ノロウイルスは、手指や食品などを介して経口で感染し、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子供やお年寄りなどでは重症化したり、嘔吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。ワクチンはなく、治療は対症療法に限られるので、次の予防対策を徹底しましょう。

（予防対策）

- ①食事の前やトイレの後などには、泡立てた石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。
- ②下痢や嘔吐などの症状のある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- ③患者のふん便や嘔吐物には多量のウイルスが含まれています。ふん便や嘔吐物を処理する時には、使い捨てのガウン（エプロン）、マスク、手袋を着用し、適切に処理しましょう。
また、消毒剤としてアルコールではなく、塩素系の次亜塩素酸ナトリウムを用いることも重要です。
- ④加熱が必要な食品は、中心部までしっかりと加熱（中心温度 85 度 90 秒以上）してから食べましょう。

注意すべき感染症

・水痘（流行発生警報発令）



第6週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、5週の報告数なしから9人になりました（定点当たり3.00）。

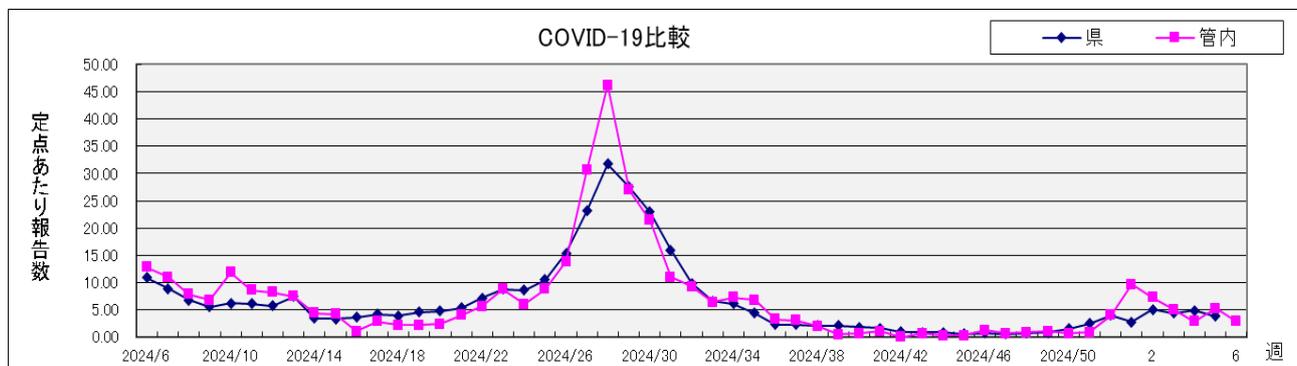
年齢別では、20～29歳（4人）、10～14歳（3人）、6歳（1人）、15～19歳（1人）の報告を受けています。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から2週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が2～3日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する1～2日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

・COVID-19



第6週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、5週の26人（定点当たり5.20）から12人少ない、14人（定点当たり2.80）です。

年齢別の報告では、80歳以上（3人）、10～14歳・20～29歳・50～59歳・60～69歳（各2人）、5歳・30～39歳・70～79歳（各1人）となっています。

新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛）、頭痛、倦怠感等です。下痢、嘔吐、嗅覚・味覚障害をおこす事もあるため、注意が必要です。

○学校における感染症による出席停止の状況2/3～2/9（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

第6週の出席停止については、インフルエンザ患者が8人（内訳：非型別インフルエンザが4人、A型インフルエンザが4人）、感染性胃腸炎が1人、COVID-19が4人、報告されています。

疾患名 自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	感染性胃腸炎	新型コロナウイルス感染症
日置市	3	0	0	1
いちき串木野市	1	4	1	3
三島村	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0
計	4	4	1	4